

第1回スポーツ指導者セミナー

開催日: 令和3年6月21日(月) 場所: 宮崎県教育研修センター (オンライン方式)
講師: 茗溪学園中学校・高等学校(茨城県) 主幹教諭 内窪 誠 氏

講演題

「宮崎国体を故郷のスポーツ元年に～」 講師

茗溪学園中学校・高等学校(茨城県) 主幹教諭 内窪 誠 氏

プロフィール: 宮崎県出身、筑波大学卒業、(公財)日本中体連体操競技部長、体操競技国際審判員
2019いきいき茨城ゆめ国体体操競技監督 成年男子第1位

令和3年6月21日(月)、県内の教職員、部活動外部指導者、部活動指導員、市町村体育・スポーツ行政担当者、スポーツ推進委員、競技団体関係者、総合型地域スポーツクラブ関係者、スポーツ少年団関係者を対象に、全国で優れた実績を有する指導者から指導を受ける機会を提供することにより、本県指導者の資質の向上と競技力向上に資するため『第1回スポーツ指導者セミナー(前:グローアップ研修会)』を開催しました。茨城県から茗溪学園中学校・高等学校 主幹教諭 内窪 誠(うちくぼ まこと)氏[宮崎県出身]を講師として、宮崎県教育研修センターにて、本講習会を初めて、オンラインで開催しました。当初は、対面式での開催予定でしたが、新型コロナウイルスの対策として、オンラインで行ったものでした。スポーツ指導センターとして、初めてのオンラインの試みであり、ICT化へ大きな一歩を踏み出すこととなるセミナーとなった。

冒頭、宮崎県教育庁スポーツ指導センター 岩切 正義 所長から、「今年は、オリンピックイヤーです。本県では、2027年(6年後)の宮崎国スポ・障スポへ向け、今後、スポーツへの関心や機運が更に高まっていくことが予想されます。6年後までの道のりを茨城国体へ向けて取り組まれた実践事例からは是非参考にしたい。非常に楽しい講演であります。」と、挨拶がありました。

研修会には、オンラインで、競技団体、小学校、中学校、高等学校等の指導者、行政関係者等33名の参加がありました。

2時間の講演でしたが、非常に貴重な内容であり、参加者からは、「本県開催の国スポ・障スポに向けて、特に強化を図る競技団体関係者には、具体的で大変参考になる内容であった。やはり、直接お話を伺い、質問や協議ができるよかった。」と、対面式での開催を望む声もありましたが、内容が充実し、大変好評でありました。

【内容】(一部抜粋)

第I部 茨城国体を振り返る「茨城国体へ向けて成年男子監督としてやってこと」

- ①リクルート
- ②選手の状況把握
- ③演技構成のチェックと構成検討
- ④必要最低限の技術指導
- ⑤大会時サポート
- ⑥選手決定

第II部 宮崎国スポへ思いを馳せる

- ① 国体・国スポはゴールではなく発展の足がかりに!
- ② 強化事業の有効活用
- ③ アドバイザー選び 等

編集後記

- ①体操競技の話でしたが、どの競技にも生かせる取組について、講演内容にたくさん盛り込まれていました。
- ②国体・国スポを「SDGsの視点」から考えることも大切です。
- ③講演の貴重な資料を御提供いただいています。御興味のある方は、スポーツ指導センターにお問合せください。

担当の目

講師の内窪誠先生には、茨城国体での経験・ノウハウを惜しげもなくお話をして頂きました。最後には、茨城国体で最も良かったことは、「国体を契機に、教え子との世代交代ができたこと」と語られていました。何事も一人ではできない、仲間と協力するという事を学んだ気がします。